

No.8

令和 3 年 12 月 7 日

多摩市立聖ヶ丘中学校
学校図書館司書 前坂 かをり

12月は、クリスマスや新しい年を迎える準備などで、忙しくも華やかな月です。皆さんに読書に親んでもらえるように、図書室廊下に季節の本をパズルにしています。本を1冊借りるたびに、本のページが現れてきますよ。ぜひ、参加してください。

今年の本いかに? (Handwritten note on the left branch)

クリスマスをお楽しみ (Left branch)

クリスマスを探偵と (Left branch)

JKローリング 静山社 (Left branch)

三毛猫ホー (Bottom left branch)

パティントンの (Bottom left branch)

図書館にクリスマスの本あります (Top star)

クリスマスを探るから (Handwritten note on the right branch)

クリスマスのお菓子 (Right branch)

さむかじやのサンタ (Right branch)

クリスマスピック (Right branch)

クリスマスフレイク (Right branch)

ウィルソン 理論社 (Right branch)

ウェストール 徳間書店 (Right branch)

フリップス 福音館書店 (Right branch)

今年借りた本の返し忘れがある人にはお礼をだしていきまわ持ってきてね (Handwritten note in a cloud on the right)

ぶたくん (Handwritten note at the bottom right)

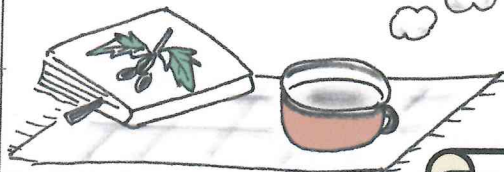
《冬休みの貸し出し》
★12月13日(月)~1月21日(金)です。
★一人8冊まで借りられます

指定図書

新刊

中学生対象の読書に関するコンクールでは、夏の「青少年読書感想文全国コンクール」と冬の「読書感想画中央コンクール」の規模が大きいので、書店の店頭を飾っています。図書室でも指定図書を手に取ってもらえるように掲示しています。

コンクールの詳細は
コチラ！



第33回 読んだ感想を絵に描こう 読書感想画 中央コンクール

主催：(公社)全国学校図書館協議会/毎日新聞社/文部科学省/読書推進委員会
共催：(公社)全国学校図書館協議会/毎日新聞社/読書推進委員会/読書推進委員会/読書推進委員会/読書推進委員会
協賛：(公社)全国学校図書館協議会/毎日新聞社/読書推進委員会/読書推進委員会/読書推進委員会/読書推進委員会

| 中学校・高等学校の部 | |
|--|---|
| <p>世界とキレル</p> <p>佐藤まどか/著 ●定価：1,540円(税込) ISBN: 978-4-7515-2949-2</p> <p>あすなろ書房</p> | <p>中2の舞は夏休みにある特殊な指導をする合宿に参加する。始めはその指導方針に反発した舞だったが、仲間との共同生活の中で鮮やかに変わっていく。</p> |
| <p>零から0へ</p> <p>まはら三流/著 ●定価：1,780円(税込) ISBN: 978-4-591-16907-0</p> <p>ポプラ社</p> | <p>戦後、一家を支えるために大学をやめ鉄道総局の研究所に入所した悠一。高速鉄道の開発にあたっては、かつて戦艦機を作っていた技術者達だった。</p> |
| <p>きみのいた森で</p> <p>ビート・ハウトマン/作 こだまともこ/訳 ●定価：1,760円(税込) ISBN: 978-4-566-02431-1</p> <p>評論社</p> | <p>祖父を失って落ちこんでいたステューイ。エリーという少女と知り合い、元気をとり戻すが、森の中で突然彼女が消えてしまっ……一体何が起った?</p> |
| <p>大切な人は今もそこにいる</p> <p>ひびきあう賢治と東日本大震災</p> <p>千葉 暁/著 ●定価：1,430円(税込) ISBN: 978-4-652-20403-0</p> <p>理論社</p> | <p>災害の中の死を考える本。著者は東日本大震災で親族を失くし実家のお寺が避難所となります。大切な人は亡くなっても心の中にあることを丹念につづる。</p> |
| <p>武器ではなく命の水をのぐりたい 中村哲医師の生き方</p> <p>富田 博/著 ●定価：1,540円(税込) ISBN: 978-4-582-83865-7</p> <p>平凡社</p> | <p>2019年、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年におわたってパキスタンとアフガンで人道支援にあたった生涯を辿りつつ、その生き方、考え方に学ぶ。</p> |

司書の

今月の1冊

ハリーポッターの作者、J.K.ローリングが何年もかけて書き、今年の10月に日本でも出版されたばかりの童話「クリスマス・ピッグ」。この季節にピッタリのお話で、自分でも、年下のきょうだいに少しずつ読んであげても、豊かな気持ちで年末を迎えられそう。58章361ページ。

